

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)					
論理国語	3	全日制・普通科・3年次	高等学校 論理国語(第一学習社)					
<p>科目の目標</p> <p>1 近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、論理的・批判的に考え、かつ社会状況を洞察する力を養う。</p> <p>2 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質や能力を育成する。</p>								
時期	単元名	領域	指導 時数	単元で育成する資質・能力 ＜単元の評価規準＞	評価方法	主な学習活動	主な言語活動	教材及び教科等 横断的な視点等
4月 2週～5月 1週	評論(七)	読むこと	12	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。(B(1)カ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って、本文を学習する前後で他の生物に対する自身の感じ方に変化があったかどうかを考え、積極的に自身の感想を発表しようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○具体(例示)と抽象(意見)の関係を整理して論理構成を把握し、筆者の述べる人間観を理解する。 ○内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。</p>	<p>具体(例示)と抽象(意見)との関係を整理する活動。</p>	<p>・人間という中心と、それよりも(軽人命)(金森修) ・言語が見せる世界(野矢茂樹)</p>
5月 2週～4週	評論(八)	書くこと	12	<p>① 知識・技能 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。(2)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(A(1)オ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 「いのち」と「生命」の違いを示しながら筆者の主張を述べる評論を粘り強く読み、学習課題に沿って段落構成を分析し、各段落の要旨をまとめようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較しながら、筆者が指摘する「本源的自己中心性」を理解する。 ○文章の内容を基に、自分の考えを論述したり発表したりする。</p>	<p>ピアジェの「自己中心性」や河上肇の「利他性」と比較する活動。</p>	<p>・身体の個性性(浜田寿美男) ・いのちのかたち(西谷修)</p>
6月 1週～4週	評論(九)	読むこと	12	<p>① 知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1)エ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 「読むこと」と「書くこと」という考え方について述べた評論を粘り強く読み、学習課題に沿って本文の構成や要旨を捉えようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○リスク社会の特徴を捉え、そのような社会での人間のあり方について考える。 ○「コスモポリタニズム」の定義や筆者の主張を理解し、グローバル社会に生きる者として問題意識を持つ。</p>	<p>グローバル化する社会の中で「コスモポリタン」という自覚をもって生きることの可能性について考えを深め、自分の主張が的確に伝わるよう工夫しながら、文章にまとめる活動。</p>	<p>・リスク社会とは何か(大澤真幸) ・コスモポリタニズムの可能性(河野哲也)</p>
7月 1週～3週	評論(十)	読むこと	12	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。(B(1)フ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 学習課題に沿って例を探しながら「『である』価値と『する』価値の倒錯」について考え、どうなれば民主化が進んだ状態と言えるのか、考えたことを積極的に発表しようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○筆者の論展開を支える文章表現上の工夫を理解して主張を捉え、身の回りの制度について考える。 ○情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。</p>	<p>『「である」価値と『する』価値の倒錯』した例を探しながら民主化の進んだ状態について考える活動。</p>	<p>・目に見えない制度と見えない制度(中村裕二郎) ・「である」と「する」こと(丸山真男)</p>
9月 1週～4週	評論(十一)	読むこと	12	<p>① 知識・技能 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。(2)イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。(B(1)ア)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 本文を粘り強く読み、聴衆が講演を理解しやすいように筆者が施した工夫について理解を深めようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○明治期の論説文における文語文法に触れ、時代背景をふまえながら筆者が主張する内容を理解する。 ○一般の開化と日本の開化との違いを整理しながら筆者の主張を捉え、自分に照らして考えを深める。</p>	<p>文章の題名が「漫罵」となっている理由や筆者の思いについてグループで考え、発表する活動。</p>	<p>・漫罵(北村透谷) ・現代日本の開化(夏目漱石)</p>
10月 1週～4週	実用文(二)	書くこと	12	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。(A(1)フ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 複数の図表を伴う文章を粘り強く読み、解釈したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○非正規雇用に関する文章と資料から必要な情報を読み取り、複数の情報を関連づけて問題点をまとめる。 ○関連する文章を比較して読み、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈する。</p>	<p>非正規雇用に関する文章と資料を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけた上で理解したことをまとめる活動。</p>	<p>・日本の雇用形態に関わる文章と資料を読み比べる ・生徒会に提出する提案書の内容を検討する</p>
11月 1週～4週	読み比べ ジェンダー	読むこと	12	<p>① 知識・技能 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)</p> <p>② 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。(B(1)エ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ジェンダーというテーマで書かれた複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、現代の日本社会の問題について考え、自身の考えを積極的に発表しようとしている。</p>	記述の点検 (ノート)	<p>○社会的な話題について書かれた論説文を読み、その内容を基に自分の考えをまとめる。 ○ジェンダーをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。</p>	<p>身の回りにある「制度」から一つ選び、その「制度」の目的や役割について、対話を通じて理解する活動。</p>	<p>・ジェンダー化された体の行方(川本玲子) ・人の進化と現代社会(長谷川真理子)</p>

12月 1週～ 3週	読み比べ イノベーション	書くこと	9	<p>① 知識・技能 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使用している。(2.イ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。(A(1)オ)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 イノベーションというテーマで書かれた複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、現代の企業や産業のあり方の問題点についてまとめ、積極的に自身の考えを発表しようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ノート)</p> <p>記述の点検 (ノート、ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>○イノベーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。</p> <p>○文章に関連した題材について、さまざまな観点から自分の考えを論述したり発表したりする。</p>	<p>イノベーションというテーマについて、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠を吟味する活動。</p>	<p>・ローカル鉄道の改革と地域振興(鳥塚亮)</p> <p>・重装備農業からの脱却(藤原辰史)</p>
1月 2週～ 4週	レポートを書く 小絵論文を書く	書くこと	12	<p>① 知識・技能 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。(1.エ)</p> <p>② 思考・判断・表現 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。(A(1)ア)</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 書いたレポートを相互評価し、批評を踏まえて粘り強く修正しようとしている。</p>	<p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の点検 (ワークシート)</p> <p>記述の確認 (振りかえり、まとめテスト)</p>	<p>○設定した題材について分析した内容を、レポートにまとめる方法を学ぶ。</p> <p>○得られた情報をもとに自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。</p>	<p>複数の資料および会話をふまえて提案書の課題を捉え直し、論述する活動。</p>	
領域ごとの 指導時間 数の計	話すこと・聞くこと		0					
	書くこと		45					
	読むこと		60					
指導時間数の合計			105					